

新リース、気候関連、資産のグルーピング

減損会計に関する 最新実務の留意点

IFRS16号の取扱いからみる

第1章

新リース基準適用における 減損評価の留意点

非財務情報と財務諸表の相互関連性に注意

第2章

気候関連リスクの影響の 減損テスト反映の留意点

IASB公開草案を参考に

第3章

減損テスト時における資産の グルーピングに関する留意点

有限責任 あずさ監査法人
公認会計士

高田 朗

有限責任 あずさ監査法人
公認会計士

伊澤 大地

会計実務において、悩ましい論点の1つが減損会計をめぐる問題といえよう。特に昨今の制度改正やサステナビリティをめぐる動向によって、自社の資産価値が将来どうなっていくか、難しい判断が求められる。そこで、近時の減損会計に影響があり得るテーマをピックアップ(新リース基準、気候関連リスク、資産のグルーピング)し、IFRSの実務などを参考にしつつ、実務上の留意点を解説していただいた。